

INPIT三重県知財総合支援窓口 相談事例

商標登録

株式会社純八商店 (東員町)

自家製さつまいも菓子が人気。
商標登録によってブランド化に成功自家栽培のさつまいもから、
お菓子を開発

株式会社純八商店は令和4年6月に設立され、同時期に製造と直販を担当する子会社「まこと商店」も設立されました。主要製品は、さつまいも(品種:べにはるか)を活用したお菓子で、新製品の開発も継続して進めています。

「まこと商店」設立後、商品群も充実し、翌年の売上額は前年より大幅に上がりました。

SDGsへの取り組み

純八商店の前出社長によると、同社設立の背景には「さつまいもの廃棄部分を減らしたい」という動機が大きく、「干し芋」の製造過程で出るロス部分はペーストにしてタルトに練り込むなど、加工ロスに対して創意工夫を凝らして新商品に蘇らせているとのこと。

商標にかける思い

同社設立の1年後には、自家栽培のさつまいもを使用したタルトが完成し、その増産体制を整えるために三重

県エネルギー価格高騰(賃上げ型)生産性向上・業務転換補助金の申請を検討していた前出社長からINPIT三重県知財総合支援窓口で商標出願の相談をいただきました。

そこで、前出社長と一緒に、「本事業における商標のあるべき姿」を議論し、次の結論に達しました。

- ①単一商品のみを使う商標ではなく、ブランド化を目指し、今後の新商品も含め「シリーズ」として使用できる商標であること。そしてそれがハウスマークにもなれば、なお良い。
- ②お客様が最初に接して記憶に残り、お口にさせていただいて改めて記憶に残る商標と商品であること。

これらを満たす商標として「純八」に決めるとともに、字体には「さつまいも」のイメージを取り入れました。

“みえの食セレクション”
選定が事業を後押し

「純八さつまいものアーモンドタルト」は、「令和5年度みえの食セレクション」の新規商品に選定され、純八商店の事業を後押しする形となりました。



栽培から加工まで東員町内で行われる「べにはるか」を使った「純八さつまいものアーモンドタルト」は、まるやかな甘さとはばしさで人気。お店の看板商品になっている。

リピート客の増加に
商標も貢献!

前出社長から「新規のお客様もかなり訪れていただきましたが、リピートのお客様は想像以上に多くなっています」とお聞きしました。

このリピートは、お客様が口にしてお満足いただいた、あるいは贈答品として喜ばれたことなどが直接の理由かと思いますが、商品名を類似品と区別して記憶していただいたことも忘れてはならず、商標の貢献も無視できないと思います。

その意味で、「記憶に残る商標」は十分に役買っており、ブランド化に大きく貢献しているのではないのでしょうか。

同商店の商品の一部は東京・日本橋の三重テラスでも販売されています。(支援担当者 伊藤光弘)

相談者の声

手厚いサポートを受け、
商標登録を行うことができました

三重県知財総合支援窓口で商標登録の意味と意義、これからの仕事にどう役立てていくかを丁寧に教えていただいた上で、商標登録を進めることができました。これからのさまざまな商品展開へのステップとして、今後も商標を大切に活用していきたいです。商標登録後も、三重県知財総合支援窓口で情報提供やアドバイスをいただき、業務を見つめ直す良い機会を作っていただいています。感謝申し上げますとともに、今後ともご指導くださいますようお願いいたします。

株式会社純八商店
社長 前出 純子さん



Company Profile 株式会社純八商店

員弁郡東員町北大社1323-9 TEL:0594-73-7174
まこと商店HP <https://makotoshoten.com>



[お問い合わせ]

INPIT三重県知財総合支援窓口

詳しくはHPから

みえ知財

検索

津窓口 TEL:059-253-8310 四日市窓口 TEL:059-327-5830 ご相談時間 9:00から17:00まで(土日・祝日・年末年始を除く)

技術支援課
TOPICS

Go-Tech事業に2件採択されました!

経済産業省の令和6年度成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業、旧サポイン事業)に、ティーセルヌーヴォー株式会社「レディース型超高純度γδT細胞の大量製造技術の開発」、株式会社水貝製作所「内視鏡下外科手術で医師の手技を手助けする低侵襲治療

手術器具の開発」の2件の提案が採択されました。採択された2件については、大学、三重県工業研究所等と協力して、3年にわたって研究開発が進められます。三重県産業支援センターは事業管理機関として、これらの研究開発を支援します。Go-Tech事業等の研究開発補助事業にご関心のある方は技術支援課までお問い合わせください。

技術支援課 TEL:059-253-1430

「みえライフイノベーションシンポジウム」を開催しました

三重県産業支援センターでは、三重県雇用経済部新産業振興課より委託を受け、「みえライフイノベーションシンポジウム」を令和6年10月22日にアスト津で開催しました。本シンポジウムでは、デジタル技術などの最新技術を活用し、ヘルスケア領域の課題解決につなげるヘルステックに関連する製品・サービスの開発、社会実装に向けた新たな連携のきっかけとなることを目的に、基調講演と事例発表3件、及び県内ものづくり企業等11機関の展示を行いました。県内外から、ものづくり企業、医療・福祉関係者等95名が参加し、盛況なシンポジウムとなりました。

ヘルスケア関連の企業、研究機関等の製品・サービス・技術に関する展示会出展者

- シンフォニアエンジニアリング株式会社
- 株式会社スズケン
- 有限会社スワニー
- 第一工業製薬株式会社
- 株式会社ミエデン
- 国立大学法人三重大学
- 学校法人鈴鹿医療科学大学
- INPIT三重県知財総合支援窓口
- 三重県工業研究所
- 一般社団法人共益型三重県臨床工学技士会
- いなべ市

基調講演

株式会社Confie 代表取締役CEO 上田 悠理 氏

「いま、地方×ヘルステックがアツい! ~共創で実現するエコシステム~」

事例発表

有限会社スワニー(長野県伊那市)

「メイドINジャパンを再定義する ~設計段階から量産最適化する重要性と、3Dプリンター活用の意義~」

三重大学 みえの未来共創機構 地域共創展開センター
「県域に広がる健康管理の未来: 電子カルテと連携したPersonal Health Recordの可能性」

いなべ市・社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会
「いなべ市高齢者デジタルライフ事業」

